

2015「Yukata De Guide Tour」実施報告書



第1班の皆様(国技館)



第2班の皆様(国技館)

NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会
理事長 蛭間明珠

【はじめに】

2015年8月1日(土)に、「Yukata de Guide Tour」(以下、過去の浴衣ツアーも含んで「本イベント」と表現します)を皆様のご尽力のもと無事開催、終了する事ができました。

本NPO法人の主催するイベントとしては、2006年より今年で10回目を迎えるイベントです。

外国人の方々に「すみだ」の魅力、そして江戸の魅力、日本の魅力を伝えるイベントに成長しつつあります。これからも継続的、発展的に開催をして参りたいと考えており、皆様のより積極的なバックアップをお願いしたいと切に願っております。

以下、本イベントの実行内容、成果と課題、という観点からご報告申し上げます。

目次	1. 実行内容
	Ⅰ 本イベントの主旨
	Ⅱ 開催に向けた準備
	Ⅲ 当日の実施内容
	Ⅳ 参加者の概要
	2. 成果と課題



1. 実行内容

Ⅰ. 本イベントの主旨

NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会は、すみだに残る江戸文化をより多くの人に広めたいという思いから、『浅草、両国、向島など隅田川周辺地域を対象として、地域の活性化および観光まちづくりの推進に寄与する事』を目的として2006年5月に設立されました。

当初は、東京都の支援のもと、隅田川の両岸を盆踊りで繋げる「和おどり」をはじめとして、両国の街案内パンフレット、向島のパンフレット作成等「すみだ」に残る江戸文化を広く伝えながら、街づくり、学術、文化、芸術の振興、地元経済の活性化を目指し活動を実施してまいりました。

これまでの活動では、日本人を対象とするイベントが中心でしたが、本イベントについては、海外の方々の日本の伝統文化に対する興味が広まっていることから、伝統的な日本の文化に触れ、実際に体験することで、「すみだ」をきっかけに「日本」をより深く理解し、「すみだ」や「日本」のファンになって欲しいという思いから、旧安田庭園の「納涼の夕べ」および両国2丁目町会の「夏祭り」と時期を合わせて開催を致しております。

Ⅱ. 開催に向けた準備

プロモーションについて…本イベントの告知を行い、参加者を集めるために以下の取組を実施しました。

- 制作物:カラーのチラシ3,000部、オンデマンドで200部作成。CD-ROM 20枚、墨田区観光協会、NPOのWebページ募集要項作成。
- 広報活動その他

☆6月下旬墨田区観光協会及び本 NPO メンバーで外国人が多く集まる教会関係、各種外国人向け学校、大学の留学生、その他を延べ3日間回りPR活動を開始しました。

その後ドイツ大使館、アメリカンクラブ、ロシア大使館、慶応義塾大学、東京プリンスホテル、港区国際交流協会、社団法人国際文化会館、コスタリカ、パナマ共和国、ウルグアイ、イエメン、ホンデュラス、ハイチ、グアテマラ、ニカラグ、ドミニカ、エジプト、エルサルバドル、エクアドル各大使館の集中する西麻布 38 興亜ビルには、墨田区議会議員井上ノエミ氏の絶大なるご協力を頂いております。深く感謝申し上げます。

その他リストアップされた上記以外についてもメール及びパンフレットを送付する等の積極的なPR活動を墨田区観光課、墨田区観光協会と共に実施しました。

☆7月中旬頃からイベントへの申し込み者からのファックスが徐々に増え始めて、意外とお客様の反応が早い事に安心する一方、上記の通りプロモーションに力を入れた為と、今回は墨田区観光課のご協力で、昨年から水辺ラインの船を一艘チャーターして頂いた事が大きな効果を生んで、昨年から沢山のお客様のお申し込みを頂戴し、80名を超えた時点で以後の受付を中止せざるを得ない事態となってしまいました。これは着楽会様の着付けの処理能力を超えた数字である為です。今年も又残念ですが途中で打ち止めとさせて頂きました。お客様には大変申し訳ありませんと頭を下げるばかりです。

Ⅲ. 当日の実施内容

【① 受付開始】

スタッフ集合は 12:30。本 NPO メンバー10名、ボランティアスタッフ8名、着楽会殿30名、観光協会殿3名、墨田区観光課殿2名、通訳2名、合計55名が集まり、最終打ち合わせを済ませて会場である回向院を全員で着替えの為の会場設営開始、第10回記念のイベントがスタートを切りました。回向院様からはイベントに役立つならば自由に使って欲しいと嬉しい申し出があり、第10回記念イベントに相応しい広くて綺麗な会場を使わせてもらいました。本多副住職ありがとうございました。



13:30 先ずはお客様をお迎えするスタッフの着替えが開始され、14:30 第1号のお客様が回向院受付にお見えになり、2015年「Yukata De Guide Tour」が始まりました。

受付に現れたお客様と観光協会スタッフが事前申し込み名簿と照合、そして浴衣を選んで着付け開始、これに一人当たり約10～15分、着楽会メンバーが奮闘を開始しました。

多少の混乱はありましたが、順次着付けが終了したお客様が出発の時間まで待っている間に、今年から着楽会メンバーの方が所属する踊りのグループが「かっぼれ」を踊ってくれました。日本の伝統的な踊りと衣装を外国人の皆様がとても楽しんでくれたようです。



【② 国技館にて】



国技館にて

浴衣に着替えた 40 名の1班が国技館入り口正面に集合し、色とりどりの浴衣の色が眩しい風景の中で、まずは国技館バックヤードツアーへ。

今年から日本青年会議所(JC)のメンバーが国技館の案内役として立ってくれました。

当日はJCの主催する「わんぱく相撲」のリハーサルの日で、大勢の子供達も来ていて、賑やかなバックヤードツアーになりました。

去年は追い立てられるように国技館の中をさーっと眺めて終わりでしたが、今年は観客席から土俵回りを歩いて、支度部屋から貴賓室まで丁寧に案内して頂きました。日本青年会議所(JC)の皆様本当にありがとうございました。

【③ 安田庭園 納涼の夕べ】



納涼の夕べ

国技館見学を終えた 1 班を旧安田庭園「納涼の夕べ」へ誘導。人数が多いため、まず1班がお茶席へ、続いて2班がお茶席へ。この間1班 40 名 40 分コースで 80 名の人数の野点を担当して下さいましたお茶席のスタッフの皆様にご感謝申し上げます。

お茶席を終えた 1 班が売店の所に来た時に、丁度山本区長がお見えになり、お客様と一緒に写真に入って頂き、皆様に喜んで頂きました。後の 2 班についても同様にして頂きました。山本区長ありがとうございました。

【④ トワイライトクルーズ】

納涼の夕べの会場から道路を隔てた両国船着場へ順次お客様を誘導して、トワイライトクルーズの船へご案内。乗船時に食事と飲み物を配布し、乗船可能なスタッフも同乗して 18:00 無事両国桟橋を出航しました。船の収容人員が今年の船の 2 倍あり、エアコンの効いた部屋に 130 名が座れて食事が出来ると、2011 年と昨年と2回の船の経験を思うと涙が出るほど広々として嬉しい状況でした。

食事の内容はイスラム文化の忌避食材を避けた鶏肉と野菜を中心とした美味しいお弁当と、ベジタリアンの方が若干名お見えになりましたので、その方々にも対応を致しました。

生憎船内のマイクの調子が悪く、適切なお案内が出来なかった事は残念でしたが、準備された食

事を皆様美味しそうに召し上がってすぐに席を立ってデッキへ向かわれました。その時のデッキは満員電車並みの渋滞でした。

今年、本イベント 10 周年を記念して、着楽会メンバーの方が所属する三味線同好の皆様が船中で

三味線を演奏して頂きました。

最初は外国人が聞いてくれるのか半信半疑でしたが、演奏するうちに拍手の数が増えて、盛大な拍手の中で約 20 分の演奏時間があっという間に過ぎ去ってしまいました。

隅田川を下り、レインボブリッジで折り返し、再度スカイツリーまで北上して両国桟橋へ到着しましたが、誠に残念ながら昨年と同様、スカイツリーのイルミネーションは 7 時半から点灯されるので、薄暗くなっていた 7:25 頃に桟橋に到着するも、スカイツリーは未点灯の俛と言う結果になってしまいました。



両国船着場



お食事タイム



三味線演奏



一番小さなお客様



【⑤ 盆踊り会場にて】

踊りの指導は両国二丁目の皆様と踊りの会の皆様で、最初はなかなか踊りの輪の中に入って来ませんでした。時間の経過と共に殆どの外国人のお客様が踊りの輪の中に入って来て、指導して

くれる方の踊りを見ながら真剣に楽しそうな輪が出来上がりました。



全世界共通のポディーアクションなのか、古典的な日本の盆踊りよりも、リズムカルな音楽系の踊りにラテン系の人たちを初めとして皆様が乗りに乗っていました。

【⑥ 着替え会場にて】

夢中になった盆踊りも花火で終了し、皆様は着替えの会場に戻ってこられて、着楽会のメンバーの皆様の最後の奮闘が始まりました。

さすがに最初の着替えよりも短時間で終了する事ができて、お客様にアンケートを書いて頂き、そのお礼として多くのお土産を一人一人に渡す事が出来ました。

お土産はエコバッグ、団扇、おしなり君饅頭、絵葉書等がたっぷり入った袋を嬉しそうに抱えて去っていく外国人の皆様を見ながら、こんな企画を喜んでくれた事で改めて「やってよかった！」と実感しながら、スタッフは会場の整理、使用した浴衣の確認・梱包と慌しく動き回り、打ち上げとスタッフの夕食をかねる香港楼に集合できたのは夜 10 時を回っていました。

お土産のご提供を頂いた、区役所観光課様、森八様、張福様、日光紙業様、サンコー様、東武タワースカイツリー社様、アートイン安藤様ありがとうございました。

IV.参加者の概要

本イベントの申し込み者については、今回は昨年と同じく 25 カ国と世界各国多岐にわたります。

毎年の分布を見ますと、特定の国がいつも多い訳ではなく、実に様々の国の皆様がお見えに

なっていることが分かります。

ポイントとしては日本文化の一端を感じて、体験して貰う事で、日本への理解を深めて頂くことが出来るという、本イベントが外国人の間で定着している事が伺われます。

参加者:78名 ※申込み受付数88名 キャンセル4名 当日キャンセル3名

ノーション3名

アンケート回答者:73件

Q1. 参加者情報

(1) 性別

性別	人数	割合
男性	22	28%
女性	56	72%
計	78	100%

(2) 年齢

年齢層	人数	割合
10代	4	5%
20代	20	27%
30代	17	23%
40代	18	25%
50代	7	10%
60代	4	5%
80歳以上	1	1%
無記入	2	3%
計	73	100%

(3) 居住地

居住地	人数	割合
墨田区	7	10%
東京(墨田区外)	48	66%
千葉	1	1%
埼玉	3	4%
神奈川	2	3%
国外	3	4%
その他(不明)	4	5%
無回答	5	7%
計	73	100%

(4) 国籍

25か国

	国籍	人数	割合
1	台湾	15	18%
2	日本	14	17%
3	オーストラリア	6	7%
4	タイ	4	5%
5	米国	4	5%
6	マレーシア	4	5%
7	アルバニア	3	4%
8	インドネシア	3	4%
9	中国	3	4%
10	イタリア	2	2%
11	コスタリカ	2	2%
12	パナマ	2	2%
13	フィリピン	2	2%

14	ベトナム	2	2%
15	ペルー	2	2%
16	オーストリア	1	1%
17	カメルーン	1	1%
18	コソボ	1	1%
19	スウェーデン	1	1%
20	ポーランド	1	1%
21	ボツワナ	1	1%
22	ボリビア	1	1%
23	マダガスカル	1	1%
24	メキシコ	1	1%
25	ロシア	1	1%
	計	78	100%

2.成果と課題

アンケートを見ても、参加者にとっては満足度の高いイベントであると自負しております。

我々が海外に旅行した場合を考える時、民族衣装の浴衣を着て、現地の一般の方でも入れない施設に入り、隅田川クルーズを体験し、更にお茶のお手前、盆踊り等伝統文化に触れる事の出来る、食事付半日のツアーであれば、日本円で1万円以上するパッケージツアーになるものと思われます。それが墨田区のご好意によりトワイライトクルーズ船をチャーターして頂いた事も加わって、参加者にとっては4,500円で参加できるという破格の値段で実現出来ており、さらに沢山のお土産が付いてきます。何よりも参加された外国人のお客様が、素直に喜んでくれた事、その事がスタッフにとっては何よりの励みになります。

本年の10周年記念イベント「Yukata De Guide Tour」は正式に墨田区から観光協会を通じてNPO法人 隅田川江戸文化観光振興会へ対しての委託事業となりました。

私達がこの10年間地道に継続して来たイベントが皆様に認知されて来た事はとても嬉しい事です。オールスミダとしてこのイベントを益々発展継続させなくてはなりません。

最後に本イベントの運営にご協力を頂きました、墨田区役所観光課の皆様、墨田区観光協会の皆様、通訳の西村様、岩佐様、着楽会の皆様、両国二丁目町会の皆様、そして毎年浴衣をお安くご提供頂いております東京山喜「たんす屋」様に心より感謝と御礼を申し上げて、2015「Yukata De Guide Tour」報告を終わります。